

マンスリータイムズ

海南市立海南下津高等学校
9 月 号
平成24年9月11日発行

◆◆知っておきたい、防災の日◆◆

9月1日が防災の日と決まったのは1960年のことです。この日は、関東大震災が発生した日であるとともに、台風シーズンを迎える時期でもありました。実は、1959年9月26日の「伊勢湾台風」によって、戦後最大の被害（全半壊・流失家屋15万3,893戸、浸水家屋36万3,611戸、死者4,700人、行方不明401人、傷者3万8,917人）を被ったことが契機となって、地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、防災の日が創設されました。それから50年余の間に日本はさまざまな自然災害に見舞われてきました。特に、昨年の東日本大震災、台風12号は記憶に新しいところです。そのたびに、私たちは自然の脅威から多くのことを学び、教訓を得てきました。先日発表された南海トラフ巨大地震の被害推計によれば、和歌山県内の死者は最悪の場合、全国で2番目に多い約8万人との試算が示されました。しかし、一人ひとりが防災について真剣に向き合えば、被害は相当減じることができると言われています。この写真は、和歌山県串本町で「防災の日」に大地震による津波を想定した避難訓練を行っている場面です。103人が参加したそうです。



◆◆高校生も防災訓練！～和歌山県高校生防災スクール～◆◆

今年も8月21日に県高校生防災スクールが行われました。本校からも8名が、紀央館高校で他校の生徒とともに講義・実習に取り組みました。将来、災害時には地域での防災リーダーとなって、この経験や知識を役立ててもらいたいと願います。



紀州おどり「ぶんだら節」

猛練習して、8月4日（土）の本番に臨み、今年度は「ぶんだら元気賞」を受賞しました。本当によく頑張りました。おめでとう！



今年も全国高総文出場！

今年度は、全国高等学校総合文化祭が富山で開催されましたが、総合開会式では3A長坂さんが手話で和歌山を紹介、弁論の部では2A瀧谷さんが堂々と弁じてくれました。両名の演技とも好評を得たということです。



ふるさと海南まつり

8月13日（月）、露店ではマドレーヌやシュシュなどの手芸小物を作って販売しました。駅前の中ビルをお借りして「高校生カフェ」もオープンさせました。また、2Aの長瀬さん、2Bの仲さん、宮本さんが、暑い中、義援金の呼びかけをしてくれました。



ライフル射撃部

9月より、元国体優勝選手の丸山敦子さんをコーチに迎え、より厳しい練習に取り組んでいます。部員の皆さん、努力した分だけ結果につながることを信じて頑張ってください。

